



田原本町立田原本中学校

2022 (R4 年度)
3月2日発行
第9号
文責：村井

〇めざす学校像

「ひとひとりを生かす学校、規律ある美しい学校、みんなで力を合わせやり抜く学校」



3年生188名、中学生生活の集大成となる高校受験が正念場を迎えます。2月上旬の奈良県内・外私学に始まり、中旬には公立高等学校の特色選抜検査が終了しました。これまでに3年生の多くの方が受験(検)を経験し、すでに進路を決定した人もいます。残すは、3月10日(木)の一般選抜検査となりますが、約5割の方が希望する進路に向けて挑戦する予定です。今年も、コロナ禍の影響からシステムの変更があり、受検までの準備には最大の注意を払いました。いずれにせよ万全の態勢で臨めるように、まずは体調管理が大切です。進路決定までもうひと踏ん張りです。10日の検査日は、全員が普段通りの力を十分に発揮できるように、心からエールを送り続けます。これまでの努力は人生において必ず報われます。当日は、常にポジティブに前進あるのみ!



さて、3年生のみなさんの周囲では、徐々に“卒業式”に向けた準備が始まり慌ただしくなってきました。生徒会ではお世話になった先輩方に対して、趣

向を凝らした送る会の準備も着々と進行中です。そろそろ各学級でも卒業へのカウントダウンが始まっていますか?残すところ2週間、中学生生活が一層思い出深く充実した日々になるように大切に過ごしましょう。

もう開けない教室のドア 向かい合えない机もいすも
週末にはよく遊んだね 時に夢中な恋も知って
絶えぬおしゃべり 怒られた朝 泣いたあの日も 覚えているよ
あなたがくれた 冷めぬこの熱は 私の胸で息づいている
今始まる 希望の道 今日までありがとうね
想い出の校舎と別れを告げ
今新たな扉開き はるかな年月経て
つぼみから花 咲かせよう
耳元で聞こえる別れの歌を あふれ出す涙こらえて
旅立ちを決めた仲間たちには はかない調べが降り積もる……
『旅立ちの日に…』2番より 川嶋あい



今から11年前の“3.11”午後2時46分に、宮城県牡鹿半島の三陸沖を震源とするマグニチュード9.1という日本の観測史上最大規模の大地震が発生しました。この大地震により東北地方から福島県沖に及ぶ一帯が、地震と津波による甚大な被害を受けました。発生時、その津波の様子がライブ報道され、そのエネルギーの大きさに言葉を失って見入っていたことを記憶しています。この大地震・大津波は、2万人近くの尊い生命を奪い、人々の日常生活をも奪いました。その後、これらの大変な犠牲を教訓に、全国で防災・減災の意識が高まったことも事実です。そして、こうした節目を機会に、悲劇を決して風化させることなく、年々高まる大地震発生への防災・減災の意識を喚起し続けなければなりません。また、改めて豊かな自分たちの日常生活を振り返り、生命の大切さに思いをはせ、今を大切にすることも忘れてはなりませんね。



“職業人講話”

2月14日(月)、1年生はキャリア教育学習で、職業人講話を実施しました。当日は、以下の14の講座を開設し、それぞれの職場で活躍されている方々から、仕事についてのやりがいや職に就いた背景などを丁寧にお話いただきました。生徒たちは、将来の姿を重ねた者もあり大変貴重な学習となりました。

職	業
理容師	保育士
看護師	萩原農場
アパレル	旅行業
水族館	婦人服縫製
ジムトレーナー	警察
クラブ職人	ダンスインストラクター

3月 行事予定

- 1日(火)~2日(水) 1・2年生 期末テスト
- 3日(木)~4日(金) 3年生 公立出願
- 8日(火) オアシス運動
- 10日(木) 公立一般入試
- 15日(火) 卒業式
- 24日(木) 修了式
- 25日(金) 春休み

4月

- 6日(水) 始業式
- 8日(金) 入学式